



# 海外向けサイトの売上拡大へ

## アリペイ決済導入を機に販売強化

海外向けECサイト〈マルイウェアチャネル インターナショナル〉に、中国の電子決済代行大手アリペイの「アリペイ国際決済」を採用した丸井（本社東京）は7月以降、決済システムの強化を機に海外売上の拡大を進める考えだ。「海外向けの売上規模はまだ小さいが、決済などを充実させることで、伸ばしていきたい」（丸井広報部）と話している。

「アリペイ国際決済」は中国元を為替レートで日本円に換算し、日本円での支払いが可能になる。日本で販売代理を行う決済代行のソフトバン

世界向け輸出支援開始  
日本語サポート対応  
アリババ  
日本企業の海外進出を支援するアリババ（本社東京）は7月1日から、日本のメーカーや問屋向けに、ネットを通じて自社製品を海外に紹介できる輸出支援サービスを開

始めた。価格は年間契約で63万円。サービスの販売とサポートはグループのアリマーケティング（本社東京）が行う。世界最大のB to Bサイト「アリババ・コム」に登録する240の国と地域・860万会員に、商品を紹介することができ

これまで英語のみだったサービスメニューを、日本語対応にしたことで日本の企業が参入しやすい環境を整えた。商品登録などの管理画面や、サポートを行うコールセンターも日本語で対応する。サイト上で商談メールをやりとりする際も、簡易なものなら自

動で英訳することが可能。より詳細な英語が必要な場合も、別途料金でサービス会社を紹介する対応する。決済について

## ソフトバンク・ペイメント・サービス 鈴木和香子 担当部長に聞く

ソフトバンク・ペイメント・サービスを通じてアリペイ決済を導入するメリットは、アリペイと直に契約するとシステム仕様のやり取りを中国人技術者と直接行うことになり、言語の問題などでスムーズな意思疎通ができないことも多いだろう。当社を経由すると、そういった負担は発生しない。

また、アリペイは決済の管理画面を持っていないが、当社では複数の国内決済サービスをひとつ

また、アリペイは決済の管理画面を持っていないが、当社では複数の国内決済サービスをひとつ

## 日本語で管理できる環境を提供

の画面で管理でき、アリペイもそのなかのひとつとして組み込んでいるため、日本語で管理できる。フェースで接続できるのに導入を進めていくか。中国向けECサイトを今後開設する事業者に向

また、日本のECサイトを見ている中国人も多いため、中国でも売れそうな商品を扱っている事業者に対しては、日本のサイトでも導入を進めていければと思っている。さらに決済だけでなく、翻訳や中国国内でのプロモーション等の総合サポートも提供している。

（聞き手 中川昌俊）